

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2019年度)

専門分野区分	デザイン・作画技法	科 目 名	デッサンⅠ				科目コード	D0490A1		
配 当 期	前期 ・ 後期 ・ 通年		授業実施形態		通常 ・ 集中		単 位 数	4 単位		
担当教員名	刀根 純子		履修グループ		1K(DA/DV/MC/SC)		授業方法	演習		
実務経験の内容	グラフィックデザイナーとしてデザイン会社に3年間勤務した経験を活かして、様々なニーズの仕事に対応するための視覚的スキルの向上を目指して講義する。									
学習一般目標	物体がどのように見えるかを理解し、立方体、円柱、球の基本的な形を表現することができる。 人物デッサンを通して、筋肉や骨を意識したリアルな表現で描くことができる。 風景デッサンを通して、空間を表現することができる。									
授業の概要および学習上の助言	デッサンは積み重ねることで気付くことが増えていき、表現も豊かになっていきます。授業だけではなく、毎日の生活の中にデッサンする時間をつくり、コツコツと描き続けましょう。									
教科書および参考書	『パーフェクトマスター デッサン・静物』 誠文堂新光社 『アーティストのための美術解剖学』 マール社 必要に応じてプリント配布。									
履修に必要な予備知識や技能	基本的に鉛筆でデッサンをします。道具がそろっている、又、描きやすく鉛筆の先が尖っている状態で授業に臨んでください。									
使用機器	鉛筆（推奨：3H、H、HB、B、3B 各1本）、練消しゴム、普通のケシゴム、カッターナイフ、スケール、目玉クリップ、削りカス入れ簡易ゴミ箱									
使用ソフト										
学習到達目標	学部DP(番号表記)		学生が達成すべき行動目標							
	1		基本形を理解し描くことができる。							
	1		人体の構造を理解し描くことができる。							
	1		立体空間を理解し、風景を描くことができる。							
	1		デッサンを通して物体の見え方を理解し、表現することができる。							
	5		講義と実習において、意欲を持って取り組むことができる。							
達成度評価	評価方法		試験	クイズ 小テスト	レポート	成果発表 (口頭・実技)	作品	ポート フォリオ	その他	合計
	総合評価割合						80		20	100
	学部 D P	1.知識・理解					80			80
		2.思考・判断								
		3.態度								
		4.技能・表現								
		5.関心・意欲							20	20

評価の要点	評価方法	評価の実施方法と注意点
	試験	
	クイズ 小テスト	
	レポート	
	成果発表 (口頭・実技)	
	作品	授業内で制作する作品を提出する。 課題に対する理解度・完成度から評価を行う。 ※立体表現、描きこみに特に注意すること。
	ポートフォリオ	
	その他	授業に対する姿勢や課題に対する取り組み、出席状況。

授業明細表

回数 日付	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1週 4/8(月)	デッサンの重要性 道具の説明、遠近法について グレースケール等	講義・実習	
第2週 4/15(月)	【立方体の表現】 ・形の捉え方、陰影表現	講義・実習	
第3週 4/22(月)	【立方体の応用】 ・立方体の基本を理解して描く	講義・実習	
第4週 5/13(月)	【円柱の表現】 ・形の捉え方、陰影表現	講義・実習	
第5週 5/20(月)	【円柱の応用】 ・円柱の基本を理解して描く	講義・実習	
第6週 5/27(月)	【球体の表現】 ・形の捉え方、陰影表現	講義・実習	
第7週 6/3(月)	【球体の応用】 ・球体の基本を理解して描く	講義・実習	
第8週 6/10(月)	【風景の表現】 ・空間の見え方を理解し描く	講義・実習	
第9週 6/17(月)	【風景デッサン】 ・街中に出ての風景理解	講義・実習	
第10週 6/24(月)	【人物の表現】 ・骨格、筋肉の理解	講義・実習	
第11週 7/1(月)	【人物クロッキー】 ・様々な動きの表現理解	講義・実習	
第12週 7/8(月)	【人物デッサン】 モデル	講義・実習	
第13週 7/15(月)	【静物デッサン】 なわとび ・卓上表現	講義・実習	
第14週 7/22(月)	続き【静物デッサン】 なわとび ・卓上表現 【まとめ】	講義・実習	